

1.	④	11.	①	21.	②	31.		41.	④
2.	④	12.	②	22.	③	32.	①	42.	④
3.	①	13.	③	23.	②	33.	②	43.	④
4.	②	14.	④	24.	③	34.	④	44.	④
5.	③	15.	③	25.	④	35.	③	45.	①
6.	②	16.	①	26.	③	36.	④	46.	③
7.	③	17.	④	27.	①	37.	②	47.	②
8.	③	18.	②	28.	④	38.	③	48.	①
9.	④	19.	②	29.	②	39.	④	49.	①
10.	③	20.	①	30.	③	40.	①	50.	①

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「from A to B」です。「from A to B」で、場所や時間の範囲について「A から B まで」という意味を表します。非常に幅広く使える便利な表現です。他の選択肢は、①「between A and B」が「A と B の間に」、②「around A and B」は不自然な表現、③「over A and B」も不自然な表現です。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「それで全部です、ありがとう。」です。お店で「Anything else? (他にご注文はありますか?)」と聞かれたときに、「以上です」と答えるときの決まり文句です。「That's it.」とも言います。①は That's great, thanks.、②は No, thank you.、③は Is that all? と尋ねる側が使う表現です。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「窓を開けましょうか。」です。「Shall I ~?」は、「(私が) ~しましょうか」と相手に申し出る時に使う丁寧な表現です。②「窓を開けてもいいですか。」は許可を求める May/Can I...?、③「窓

を開けなければなりませんか。」は義務を尋ねる **Must I...?**、④「窓を開けるつもりですか。」は相手の意志を尋ねる **Will you...?**となり、意味が異なります。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「**have to do**」です。「**have to + 動詞の原形**」で、「～しなければならない」という義務を表します。他の選択肢は、①「**can do**」が「～できる」、③「**should do**」が「～すべきだ」、④「**need to do**」が「～する必要がある」と、それぞれニュアンスの違う助動詞の働きをします。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「スーパーで何か必要なものはありますか。」です。**need** は「～を必要とする」、**anything** は「何か」という意味です。「**from the supermarket**」で「スーパーから」となります。①は **Did you bring...?**、②は **Do you want to buy...?**、④は **Is there anything...?**のような質問になります。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「**Clean your room now.**」です。動詞の原形で文を始めると、「～しなさい」という命令・指示の文になります。他の選択肢は、①「部屋を掃除すべきです」という助言、③「部屋を掃除してください」という丁寧なお願い、④「部屋を掃除できますか」という質問です。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の「**water**」です。私たちが飲む「水」のことです。数えられない名詞の代表例です。他の選択肢は、①「**ice**」が「氷」、②「**tea**」が「お茶」、④「**sea**」が「海」で、それぞれ水と関係はありますが、意味は異なります。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「橋」です。「bridge」は、川や谷、道路などを渡るためにかけられた建造物を指します。①「道」は road、②「トンネル」は tunnel、④「川」は river です。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「far」です。「far」は、距離が「遠い」ことを表す形容詞です。他の選択肢は、①「near」が「近い」、②「long」が「長い」、③「high」が「高い」です。距離や長さを表す言葉として区別して覚えましょう。「far」と「near」は反対の言葉です。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「なぜなら～だから」です。「because」は、理由や原因を表す文を導く接続詞です。「Why? (なぜ?)」と聞かれたときの答えによく使われます。①「もし～ならば」は if、②「～だけれども」は although、④「～するとき」は when を使うのが一般的です。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「Could you show me your textbook?」です。人に何かを丁寧に頼むとき、「Could you ～?」という形を使います。②「Can you ～?」よりも丁寧な響きになります。③「Will you ～?」も依頼の表現ですが、Could/Can の方が一般的です。④は疑問文として不自然です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「writer」で、「作家」や「作者」という意味です。動詞の「write (書く)」に「er」がついて「書く人」となります。他の選択肢は、①「reader」が「読む人、読者」、③「speaker」が「話す人」、④「painter」が「画家」です。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「little」です。「little」は、大きさが「小さい」ことや、数えられないものの量が「少しの」という意味を表します。他の選択肢は、①「many」が数えられるものが「たくさん」、②「few」が数えられるものが「少しの」、④「much」が数えられないものが「たくさん」という意味で、量を表す大切な言葉たちです。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④「祭り」です。「festival」は、地域のお祭りや音楽祭など、多くの人が集まって祝う行事を指します。①「パーティー」は party、②「コンサート」は concert、③「休日」は holiday です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「healthy」です。「healthy」は、病気でなく「健康な」状態や、体に良いことを表す形容詞です。名詞の「health(健康)」に y がついた形です。他の選択肢は、①「sick」と④「ill」が「病気の」、②「weak」が「弱い」という意味で、不健康な状態を表します。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①の「call」です。人の名前などを「呼ぶ」ことや、人に「電話をかける」ことを意味します。他の選択肢はすべて「話す」系の動詞ですが、②「talk」は「おしゃべりする」、③「speak」は「言語を話す」、④「tell」は「伝える」と、それぞれ使い方が異なります。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④の「place」で、「場所」を意味する最も一般的な単語です。具体的な建物だけでなく、抽象的な「場所」にも使えます。他の選択肢は、①「space」が「空間、宇宙」、②「area」が「地域、区域」、③「room」が「部屋、余地」という意味です。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の「husband」です。結婚している男性の配偶者、つまり「夫」を指します。他の選択肢は、①「wife」が「妻」、③「father」が「父」、④「son」が「息子」で、それぞれ違う家族の立場を表します。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②「～のことを考える、思いつく」です。「think of ～」は、「～のことを（心に）思い浮かべる、考える」や、アイデアなどを「思いつく」という意味で使われます。①「～について話す」は talk about、③「～について知る」は know about、④「～を信じる」は believe です。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「どうしたのですか。」です。「What happened?」は、何か良くないことが起こったときや、相手の様子がいつもと違うときに、「何が起こったの?、どうしたの?」と尋ねる表現です。②は What did you do?、③は What do you like?、④は What do you want?です。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「先週」です。「last week」で「この前の週」、つまり「先週」を意味します。同じように last month は「先月」、last year は「去年」となります。①「来週」は next week、③「今週」は this week、④「週末に」は on weekends です。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「～して楽しむ」です。「enjoy」の後ろには、動詞の-ing 形（動名詞）が続き、「～することを楽しむ」という意味になります。finish と同じく、to do の形はとらないので気をつけましょう。①は be good at doing、②は hate doing、④は be interested in doing など表せます。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「pop music」です。「pop」は「popular（人気のある）」の短い形で、「pop music」で多くの人に人気のある「ポップス音楽」を意味します。他の選択肢は、①「rock music」が「ロック音楽」、③「classical music」が「クラシック音楽」、④「jazz music」が「ジャズ音楽」と、それぞれ違う音楽のジャンルを表します。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「子どもたち」です。「children」は、「child（子ども）」の複数形で、二人以上の子どもを指します。このように、最後に s をつけずに形が変わる複数形もあるので注意しましょう。①は child、②は baby、④は adults です。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「どのくらいの頻度で練習しますか。」です。「How often ～?」は、物事を行う「頻度、回数」を尋ねるときの決まり文句です。①は How long ...?、②は When ...?、③は Why ...? を使って尋ねます。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③の「hamburger」です。パンの間に焼いた肉などを挟んだ、日本語の「ハンバーガー」と同じ食べ物です。他の選択肢は、①「ホットドッグ」、②「サンドイッチ」、④「ステーキ」と、それぞれ違う料理を指します。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「いっぱいの」です。「full」は、容器などが物で「いっぱいの、満ちた」状態や、食事をして「お腹がいっぱいの、満腹の」状態を表す形容詞です。反対の言葉は②「空の(empty)」です。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「driver」で、「運転手」という意味です。動詞の「drive（運転する）」に「er」がついて「運転する人」となります。他の選択肢は、①「pilot」が「パイロット」、②「captain」が「船長」、③「rider」が「(バイクなどの) 乗り手」です。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「A と B の両方」です。「both A and B」の形で、二つのもの A と B を指して「A と B の両方とも」という意味を表します。①「A か B のどちらか」は either A or B、④「A も B も～ない」は neither A nor B という表現になります。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を覚えている」です。「remember」は、過去の出来事などを記憶していて「覚えている」、または忘れていたことを「思い出す」という意味の動詞です。反対の言葉は①「～を忘れる(forget)」です。セットで覚えると良いでしょう。②「～を考える」は think、④「～を知る」は know です。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②の「order」です。レストランで料理を「注文する」ことや、店で商品を「注文する」ことを意味します。名詞で「注文」や「順番」という意味もあります。①「buy」は「買う」、③「ask」は「頼む」、④「choose」は「選ぶ」です。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「(言葉を) 話す」です。「speak」は、ある言語を「話す」能力があること（例: speak English）や、大勢の前で「話す、演説する」という意味で使われます。他の選択肢は、②「(～と) 言う」は say、③「(～に) 伝える」は tell、④「(～を) 読む」は read です。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②「salt」で、「塩」という意味です。しょっぱい味付けをするための基本的な調味料ですね。他の選択肢は、①「sugar」が「砂糖」、③「pepper」が「こしょう」、④「oil」が「油」です。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④「go back to ～」です。今いる場所から離れて、元の場所へ「戻る、帰る」という意味を表します。①「come back to ～」は聞き手や話者のいる方へ「戻ってくる」、②「get back to ～」は「～に戻る、帰り着く」という到着のニュアンスがあります。③「return back to」は return と back の意味が重なるため、通常は使いません。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③の「**building**」です。家、学校、会社、お店などを含む「建物」全般を指す言葉です。日本語の「ビルディング」と同じですね。他の選択肢は、①「家」、②「事務所」、④「学校」と、特定の種類の建物を指します。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④の「**chocolate**」です。カカオ豆から作られる甘いお菓子、「チョコレート」です。日本語とほぼ同じですね。他の選択肢は、①「キャンディー」、②「クッキー」、③「アイスクリーム」と、それぞれ違う種類のお菓子です。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「おいしそうですね。」です。「look + 形容詞」で「～のように見える」という意味になります。「It looks good.」は、食べ物を見て「おいしそう」と言うときの定番フレーズです。good の代わりに delicious を使っても OK です。①は You can see well.、③は You look fine.、④は It looks good on you.のように言います。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「How are you?」です。相手の健康や調子を尋ねる、最も一般的な挨拶です。他の選択肢は、①「How do you do?」が初対面の相手に使うとても丁寧な挨拶、②「What are you?」が「あなたの職業は何ですか」と尋ねる文、④「Who are you?」が「あなたは誰ですか」と尋ねる文です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④の「**enjoy**」です。何かを「楽しむ」、何かをして「楽しく過ごす」という意味の動詞です。enjoy の後には、何を楽しんだのかを示す言葉が続きます。①は「好きだ」、②は「遊ぶ」、③も「楽しむ」ですが、have fun はそれ自体で完結する表現です。

40.

解答 ①

【解説】

「postcard」は、切手を貼って宛名を書けば、封筒に入れずにそのまま送れる「郵便はがき」のことです。post（郵便）と card（カード）が合わさった単語ですね。②「手紙」は letter、③「写真」は photo や picture、④「切手」は stamp と言います。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「問題ないよ。」です。「No problem.」は、頼み事を快く引き受けるときの「いいですよ、お安い御用です」や、感謝されたときの「どういたしまして」、謝られたときの「気にしないで」など、幅広い場面で使える便利な言葉です。中心的な意味は「問題ありません」です。①は Don't worry.、②は That's too bad.、③は Sure.や Of course.です。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「classroom」で、「教室」という意味です。「class（授業）」を行う「room（部屋）」と覚えると分かりやすいですね。他の選択肢は、①「library」が「図書館」、②「gym」が「体育館」、③「office」が「職員室」や「事務所」という意味です。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の「present」です。「贈り物」や「プレゼント」を意味します。gift という単語も同じような意味で使われます。他の選択肢は、①「手紙」、②「カード」、③「箱」で、プレゼントを入れたり添えたりすることはありますが、贈り物そのものではありません。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「eraser」で、「消しゴム」という意味です。動詞「erase（消す）」に「er」がついて「消すもの」となります。他の選択肢は、①「pencil」が「鉛筆」、②「pen」が「ペン」、③「ruler」が「定規」です。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「glasses」です。「glasses」は「めがね」を意味します。レンズが2つあるので、常に s をつけて複数形で表すのがポイントです。数えるときは a pair of glasses と言います。他の選択肢も同じように常に複数形で使う単語で、②「shoes」が「靴」、③「pants」が「ズボン」、④「scissors」が「はさみ」です。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「Good night.」です。夜、別れるときや寝るときの挨拶として「おやすみなさい。」という意味で使います。①「Good evening.」は夜に会ったときの「こんばんは。」という挨拶なので、別れ際には使いません。②「Good morning.」は「おはよう。」、④「Good afternoon.」は「こんにちは。」です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「farmer」で、「農業を営む人」や「農家」という意味です。名詞「farm（農場）」に「er」がついて「農場で働く人」となります。他の選択肢は、①「fisher」が「漁師」、③「hunter」が「狩人」、④「builder」が「建築家」です。

48.

解答 ①

【解説】

「come」は「来る」という意味の最も基本的な動詞の一つです。話し手や聞き手のいる方向へ近づいていく動きを表します。②「行く」は go、③「帰る」は return や go back、④「歩く」は walk と、それぞれ違う動きを表す言葉です。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①の「England」です。イギリス (the U.K.) を構成する四つの国の一つ、「イングランド」です。首都ロンドンがある場所ですね。他の選択肢は、②「アメリカ」、③「オーストラリア」、④「カナダ」と、別の国を指します。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「私たちは学校に遅刻します！」です。「be late for 〜」で「〜に遅れる、遅刻する」という意味になります。「We'll」は We will の短縮形で、このままだと「遅刻するだろう」という未来の予測を表します。急いでいる状況で使われることが多いです。②は We are ready for school!、③は We are looking forward to going to school!などと言えます。
